



共に



射水市立太閤山小学校
第6学年 学年だより
令和6年12月2日



今年もあと1か月



12月となり、寒さも本格的になってきました。早いもので、2学期も残すところあと1か月です。2学期は、宿泊学習、学習の発表会、校外学習・持久走記録会とたくさんの行事が続きました。子供たちは、その度に仲間と協力したり、一人一人が様々な役割を担って活躍したりと充実した日々を送ることができました。小学校生活最後となる行事を楽しむ一方で、中学進学を意識して学習面や生活面を見直し、やるべきことを考え、実行してほしいと思います。

校外学習 “共に” ～世界遺産「白川郷」から学ぶ～

11月8日(金)快晴の中、岐阜県の世界文化遺産「白川郷」へ出向きました。白川郷集落には、平日にもかかわらず、たくさんの観光客が来ていました。特に、外国籍の方が多く、子供たちは臆せず学習している英語や日本語で挨拶している姿が印象的でした。白川郷では、先人の努力や自然の美しさ、すばらしさを実感するだけでなく、班活動を通して集団行動や社会のきまりを守り、行動することを実践するよい機会になりました。お小遣いでここでもか味わえない食べ物を味わったり、自分や家族へのお土産を楽しそうに選んだりしていました。子供たちの振り返りからも、そのときの感動や学びを感じ取ることができます。ここにいくつか紹介します。

〔合掌造りについて〕

- 校外学習で心に残ったのは、合掌造りです。なかなか行けない所だったし、貴重な体験ができてよかったです。
- 建物の大きさに驚いた。自分が思っていたよりも大きくて、屋根の柱もすごく太くて心に残った。また、あいさつすることで自分も相手も笑顔になったので、あいさつをする大切さを学んだ。

〔文化財保護の視点〕

- ゴミが一つも落ちていなかったり、電柱がなかったり、風景を守るための取組がなされていた。ゴミを落とさない環境を守っていききたいと思った。
- 白川郷に住んでいる人たちは、自分たちの村を大事にしていることがすごくよく分かった。ほくも大事にしていきたい。
- 白川郷は、ネットで見たものよりも昔の風景がきれいに残っており、文化などをしっかり受けつがれていることが分かった。村の一人一人が協力し合ってこんなにきれいで豊かなものを残してきたことにびっくりした。

〔班行動について〕

- 和田家に行く道に迷ったとき、一緒に地図を見たり話し合ったりして協力することができた。
- みんなでルートを決めたり、行きたい場所に行ったりして仲が深まったと思った。



メディアとの付き合い方を学ぶ「スマホ・ゲームのトラブルの事例から」



現代社会において、PCやタブレット、携帯電話等のメディアは生活に欠かせないものです。これは、大人の問題ではなく小学生においても他人事ではありません。しかし、家族や担任が声をかけても直すべき行動が改善されない傾向があります。そこで、射水地区の人権擁護委員の先生方から、スマホやゲーム等のメディア利用の際に起こりうるトラブルの事例について、動画教材を使って教えていただきました。子供たちは、自分の身にも起きそうな事例を真剣に見ながら、メディアとの付き合い方について考える機会になりました。

自分にとってのリスク(危険性)は？

リスク = 起こりやすさ × 被害の大きさ

- 長時間使用 → ネット依存、健康被害
- 高額課金 → 家族生活に影響
- チャットでけんかになる → いじめ
- 歩きスマホ → 事故、トラブル
- 写真や書き込みによる被害 → 事件

○書き初め練習が始まりました！

練習のあった日は、筆巻きと墨池を持ち帰ります。次回の練習日まできれいに洗って持ってきます。書き初め道具は中学まで必ず使います。校内大会(1/8)後も、大筆と墨池はしっかり洗っておくことが大切です。

